

学校評価結果公表シート　－苦小牧聖ルカ幼稚園－

1. 園の教育目標

キリスト教の精神に基づき、目に見えない神さまのみ護りの中で、ゆったり安心して、安全な生活を送ることが出来るように、そして、日々生活の中で遊びを通して、他人を思いやる豊かな感性が育つようにと望んでいます。また、明るく、元気に、のびのびと育つことを願います。

＜環境を通して行う 3つの柱＞

- ・豊かな感性を育てる
- ・健やかな心と体を育てる
- ・優しい心、思いやりの心を養う

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・キリスト教保育を基盤とする園の教育保育方針に対して深い理解を示し実現させる人材育成（当園の教育理念及び方針を正しく理解し子どもに伝えられる保育者）
- ・ひとりひとりの個性を大切にし、心身の成長・発達を助長することを目的とする幼稚園生活と保育活動内容を充実（主体的な子どもの姿を大事にした行事内容の見直し含む）
- ・ホームページやSNSを充実させ、子育て支援事業の取組も含め、地域に開かれた園を目指す
- ・安心安全な保育環境の提供と働きやすい職場の環境整備（業務負担の軽減…ICT化の促進／業務内容、職員配置 基準、チーム力が生きる体制等々）
- ・保護者（の会）との連携
- ・経費削減の取り組み（光熱費、保守契約の見直し、環境問題に寄与する取り組み等）

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
園の教育課程について 幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基にした編成	<ul style="list-style-type: none">・キリスト教保育を土台とする他者を大切に愛しむ心を育み、子どもたちの実態を踏まえながら主体的な活動となる保育内容を計画的に推進し、昨年度以上に浸透し、職員たちが園の理念を意識が高められてきたことを実感できるようになっている。
幼児の発達に即し、幼児期にふさわしい生活を展開できる具体的な指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none">・職員間による保育の振り返りは、十分な時間をかけて反省と課題、課題に対する対策を練って、改善に繋げ、新しい試みにも積極的に挑戦する意識がつき、子どもの実態に合わせた保育計画を展開させている。・一年間の見通しをもち、様々な活動と活動に関連性をもち、子どもたちが主体的な取り組みになるような内容となるよう工夫している。
安全で清潔感のある環境構成	<ul style="list-style-type: none">・毎日の清掃は勿論、感染防止、衛生面を保つよう適宜消毒を行っている。・子どもたちが利用する遊具、玩具、活動空間、保育室の安全点検をこまめに行い、安全環境の確保に努めた。
子どものありのままの姿を受け入れ、一人ひとり大切にする関り	<ul style="list-style-type: none">・みんなが違うことはあたり前、一人ひとりの個性を認め合う環境が職員も子どもたちも定着し、子どもたちも自分らしく過ごせるようになっている。
保護者に対する保育方針の説明 保護者との信頼関係づくり	<ul style="list-style-type: none">・園の様々な活動の中で見られるお子さんの姿や、成長したこと、困ったことなど必要に応じて対面や電話で丁寧に伝えるようにしている。・保護者には園の方針等の具体的な説明、また、保護者が忌

	憚のない意見を述べやすい環境作りに努め、保護者の意見は真摯に受け止めつつ、その後に活かしている。
地域・社会に開かれた園	<ul style="list-style-type: none"> 子ども聖歌隊の活動や特定の行事で募った募金を国内外で困難な状況にある子どもたちの為に、直接あるいは支援活動機関4か所に寄付する活動を行っている。 ※ユニセフ協会：ガザ人道危機緊急支援募金、里親グループホーム：のあ（網走）、苫小牧市社会福祉協議会：子ども支援のため、市内子ども食堂：マム 子育て支援事業ひだまり広場として園を開放し、0歳以上の未就園児親子の交流の場としている。
教職員のキャリアアップ研修 保育の質や専門性向上のための研修参加	<ul style="list-style-type: none"> 北海道私立幼稚園協会主催の研修、聖公会北海道学園主催の研修、保育連盟協議会主催の研修、園内研修（毎月実施）など。
人事管理・財務管理を適正に行っている	<ul style="list-style-type: none"> 公認会計士、社労士の監査を受け、適正に行っている。

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> ホームページリニューアル、SNS等を通じて、園の保育理念の浸透、効果的な魅力発信 子育て支援事業の周知と充実、プレスクール入会園児獲得の工夫
1号認定の預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> 園児数に対して適正な職員数 年々増加傾向にある2号・3号認定の保育と、1号認定預かり保育受入れに対応できる環境や体制づくり 当面は職員増員困難な為、相談の上、安全の保障と保育要件が認められる場合に受け入れ
研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事予定と安全計画と関連させた研修計画 少人数グループごとに短時間でも質の高い学びや情報共有をする研修内容 職員会議の一部を研修に充てるなど
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ICT化推進を継続 紙ものの配布は必要最低限で、データ添付にシフト 職員配置を幼稚部・保育部を固定化せず、全職員で状況に合わせた柔軟な配置で正職員の事務時間を確保
子どもと職員の安全を守る環境	<ul style="list-style-type: none"> 室内外の安全点検（角・段差・遊具・扉・施錠）の徹底 明確なマニュアルと共に理解（事故・ヒヤリハット・災害時対応・スマホ・個人情報管理） 働き方への配慮（過重労働を避ける・十分な休憩、休暇） 複数目で子どもを見る体制 子どもと職員を守るためのカメラ設置